

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	5年間（2013年2月28日～2018年2月27日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンドの受益証券
	ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド	タイ企業の株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、輸出や投資、消費の拡大に注目して、タイ企業の株式に投資し、値上がり益の獲得を追求することにより、信託財産の成長をめざします。</p> <p>②ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。</p> <p>イ. 時価総額や流動性等を勘案して投資対象銘柄を選定します。</p> <p>ロ. 投資対象銘柄について、ボトムアップ・アプローチに基づいて個別企業の分析を行ない、次の銘柄を組入候補銘柄として選定します。</p> <p>    i. 高い利益成長が期待できる銘柄</p> <p>    ii. 収益力等に対して株価が割安と判断される銘柄</p> <p>ハ. 株価バリュエーション、業種分散、銘柄分散等を勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。</p> <p>④株式の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。</p>	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

# ダイワ・ライジング・タイランド株式ファンド

## 運用報告書(全体版)

### 第6期

(決算日 2016年2月29日)

#### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・ライジング・タイランド株式ファンド」は、このたび、第6期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先（コールセンター）  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00~17:00)

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<3829>

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCIタイ指数 (配当込み、円換算)		株式 組入 率	株式 先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
2期末 (2014年2月27日)	8,427	0	0.3	9,004	1.2	93.6	—	28,729
3期末 (2014年8月27日)	10,390	150	25.1	11,326	25.8	95.7	—	25,770
4期末 (2015年2月27日)	10,949	550	10.7	12,766	12.7	95.4	—	18,523
5期末 (2015年8月27日)	8,668	0	△ 20.8	10,066	△ 21.1	91.3	—	12,126
6期末 (2016年2月29日)	8,488	0	△ 2.1	9,776	△ 2.9	94.4	—	10,113

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

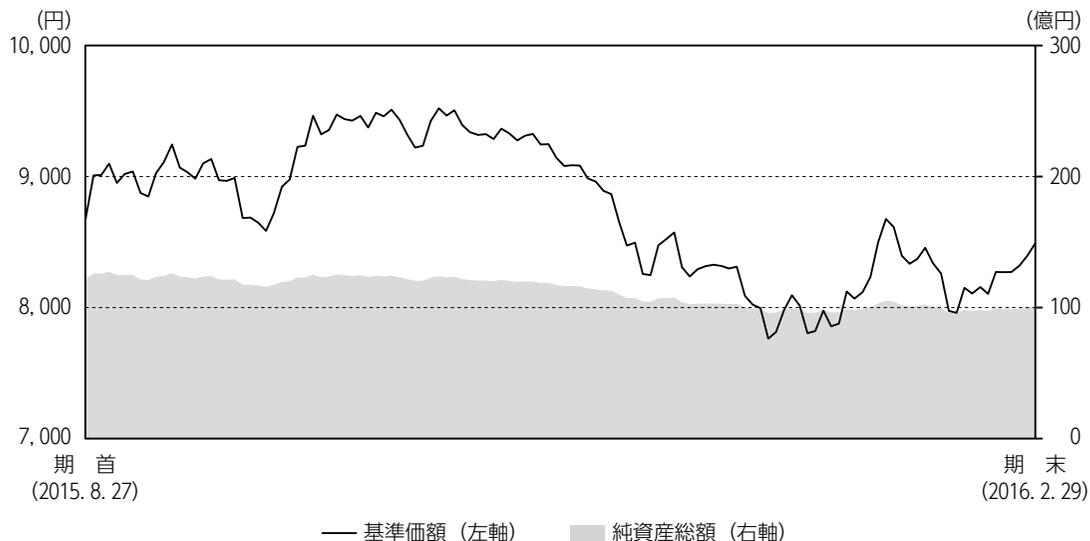
(注2) MSCIタイ指数 (配当込み、円換算) は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCIタイ指数 (配当込み、タイ・パーツベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCIタイ指数 (配当込み、タイ・パーツベース) は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

## 《運用経過》

### 基準価額等の推移について



### ■基準価額・騰落率

期首：8,668円  
 期末：8,488円  
 騰落率：△2.1%

### ■基準価額の主な変動要因

マザーファンドを通じてタイ株式に投資した結果、原油価格の底打ち期待を受けた投資家心理の改善などを背景に株価が上昇したことがプラス要因となりましたが、原油価格の下落や欧州での金融不安などをを受けて投資家のリスク回避の動きが強まる中、円高の進行からタイ・パーツが対円で下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

ダイワ・ライジング・タイランド株式ファンド

年 月 日	基 準 価 額		M S C I タイ 指 数 ( 配 当 込 み、 円 換 算 )		株 組 比	式 入 率	株 先 比	式 物 率
		騰 落 率	( 参 考 指 数 )	騰 落 率				
( 期 首 ) 2015年 8月27日	円	%		%		%		%
	8,668	—	10,066	—		91.3		—
8 月 末	9,011	4.0	10,561	4.9		94.7		—
9 月 末	8,686	0.2	10,024	△ 0.4		93.6		—
10 月 末	9,221	6.4	10,615	5.4		90.5		—
11 月 末	9,080	4.8	10,443	3.7		90.2		—
12 月 末	8,299	△ 4.3	9,430	△ 6.3		94.3		—
2016年 1 月 末	8,499	△ 1.9	9,674	△ 3.9		96.5		—
( 期 末 ) 2016年 2月29日	8,488	△ 2.1	9,776	△ 2.9		94.4		—

(注) 騰落率は期首比。

**投資環境について****○タイ株式市況**

タイ株式市況は上昇しました。

タイ株式市況は、前期末に発生した新興国からの資金流出懸念から投資家が徐々に落ち着きを取り戻してきたことにより上昇して始まり、その後も、政府による景気刺激策への期待や、市場予想を下回る雇用統計を受けた米国の年内利上げ観測の後退、また海外からの観光客増加による国内経済への恩恵期待から、株式市況は上昇基調を維持しました。しかし2015年11月に入ると、次世代回線の入札額高騰による通信事業者の収益圧迫懸念や原油価格の下落、米国の利上げ観測など悪材料が重なり、株式市況は通信株やエネルギー株主導で大きく下落しました。2016年の年明け以降は、株価急落を受けた割安感から買い戻しの動きが見られ株式市況は反発局面に入り、1月下旬にはECB（欧州中央銀行）の追加金融緩和への期待などを支援材料に上昇基調となりました。その後も、期末にかけて原油価格の反発などを背景に世界的に投資家心理が改善する中、株式市況も上昇基調を維持しました。

**○為替相場**

タイ・バーツは円に対して下落しました。

対円でのタイ・バーツ相場は、中国の通貨切下げを受けた新興国からの資金流出懸念や投資家のリスク回避の動きから下落して始まりましたが、2015年10月には、市場予想を下回る雇用統計を受けた米国の年内利上げ観測の後退や、投資家のリスク回避の動きが和らいだことから、バーツは反発しました。その後、バーツは米国の年内利上げ観測から対米ドルでは下落したものの、円安米ドル高も同時に進行したため、対円では底堅い動きとなりました。しかし12月以降は、原油価格の下落や欧州での金融不安などを受けて投資家のリスク回避の動きが強まる中で円高が進行したことから、バーツは対円で下落しました。

## 前期における「今後の運用方針」

### ○当ファンド

ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンドを高位に組み入れる方針です。

### ○ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド

インフラ（社会基盤）整備に対する投資の促進、所得水準の向上に伴う個人消費の拡大、製造業の集積による輸出の拡大見通しを背景とした、中長期的なタイ経済の高成長を享受することをめざして運用を行なってまいります。業種では、政府の大規模インフラ整備計画から中長期的な恩恵が期待される建設企業などを中心とした資本財・サービスセクターや、景気刺激策の恩恵が期待できる銀行を中心とした金融セクターなどに注目していきます。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

期を通じてダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンドを高位に組み入れました。

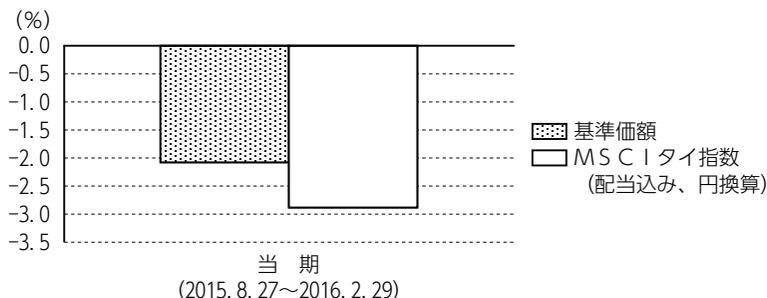
### ○ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド

タイ株式の中から中長期的に高い利益成長が期待できる銘柄に分散投資を行ないました。業種では、国内景気の回復から中長期的に恩恵を受けると考えられた金融、強い石油化学製品市況の恩恵が見込まれた素材、底堅い国内消費を背景に業績拡大が期待できた生活必需品を組入上位としました。個別銘柄では、国内景気の回復から幅広い恩恵が期待された大手銀行 KASIKORNBANK（金融）、既存店売上回復による業績拡大が期待された CP ALL（生活必需品）などの組入比率を高位としました。また、原油価格回復の恩恵が期待された PTT PCL（エネルギー）などを買い付けました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はタイ株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

## ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2015年8月28日 ～2016年2月29日	
当期分配金 (税込み) (円)	—	
対基準価額比率 (%)	—	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	932	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金 (税込み) に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金 (税込み) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 《今後の運用方針》

### ○当ファンド

ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンドを高位に組み入れる方針です。

### ○ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド

インフラ整備に対する投資の促進、所得水準の向上に伴う個人消費の拡大、製造業の集積による輸出の拡大見通しを背景とした、中長期的なタイ経済の高成長を享受することをめざして運用を行なってまいります。業種では、政府の大規模インフラ整備計画から中長期的な恩恵が期待される建設企業に加え、力強い業績を維持する情報技術セクター、観光客増加の恩恵を受ける観光関連産業などに注目していきます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2015. 8. 28~2016. 2. 29)		
	金 額	比 率	
信託報酬	79円	0. 905%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>期中の平均基準価額は8,745円です。</b>
(投信会社)	(38)	(0. 439)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(38)	(0. 439)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(2)	(0. 027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	37	0. 422	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(37)	(0. 422)	
(新株予約権証券)	(0)	(0. 000)	
有価証券取引税	1	0. 009	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(1)	(0. 009)	
(新株予約権証券)	(0)	(0. 000)	
その他費用	8	0. 087	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(7)	(0. 084)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	124	1. 423	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

# ダイワ・ライジング・タイランド株式ファンド

## ■売買および取引の状況

### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年8月28日から2016年2月29日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド	—	—	1,936,621	1,905,000

(注) 単位未満は切捨て。

### ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2015年8月28日から2016年2月29日まで)

項 目	当 期
	ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	15,116,145千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	10,497,396千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.43

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

## ■組入資産明細表

### 親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千口	千円
ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド	12,471,993	10,535,371	10,064,440	

(注) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2016年2月29日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・ライジング・タイランド株式ファンド	10,064,440	98.3
コール・ローン等、その他	170,863	1.7
投資信託財産総額	10,235,304	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月29日における邦貨換算レートは、1タイ・パーツ=3.18円です。

(注3) ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(9,663,267千円)の投資信託財産総額(10,371,616千円)に対する比率は、93.2%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年2月29日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	10,235,304,247円
コール・ローン等	145,863,533
ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド(評価額)	10,064,440,714
未収入金	25,000,000
(B) 負債	122,206,197
未払解約金	20,129,463
未払信託報酬	101,768,442
その他未払費用	308,292
(C) 純資産総額(A-B)	10,113,098,050
元本	11,914,331,685
次期繰越損益金	△ 1,801,233,635
(D) 受益権総口数	11,914,331,685口
1万口当り基準価額(C/D)	8,488円

\* 期首における元本額は13,989,565,656円、当期中における追加設定元本額は48,144,477円、同解約元本額は2,123,378,448円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,488円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,801,233,635円です。

## ■損益の状況

当期 自2015年8月28日 至2016年2月29日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	28,995円
受取利息	28,995
(B) 有価証券売買損益	△ 113,452,874
売買益	97,835,035
売買損	△ 211,287,909
(C) 信託報酬等	△ 102,076,734
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 215,500,613
(E) 前期繰越損益金	△ 1,761,350,039
(F) 追加信託差損益金(配当等相当額)	175,617,017
(売買損益相当額)	( 73,858,957)
(G) 合計(D+E+F)	△ 1,801,233,635
次期繰越損益金(G)	△ 1,801,233,635
追加信託差損益金(配当等相当額)	175,617,017
(売買損益相当額)	( 73,858,957)
分配準備積立金	( 101,758,060)
繰越損益金	1,037,416,177
	△ 3,014,266,829

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は10ページの「収益分配金の計算過程(総額)」の表を参照。

(注4) 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用:27,320,786円(未監査)

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	73,858,957
(d) 分配準備積立金	1,037,416,177
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,111,275,134
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,111,275,134
(h) 受益権総口数	11,914,331,685口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

# ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド

## 運用報告書 第6期 (決算日 2016年2月29日)

(計算期間 2015年8月28日～2016年2月29日)

ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンドの第6期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	タイ企業の株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）
運用方法	<p>①主として、輸出や投資、消費の拡大に注目して、タイ企業の株式に投資し、値上がり益の獲得を追求することにより、信託財産の成長をめざします。</p> <p>②ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。</p> <p>イ. 時価総額や流動性等を勘案して投資対象銘柄を選定します。</p> <p>ロ. 投資対象銘柄について、ボトムアップ・アプローチに基づいて個別企業の分析を行ない、次の銘柄を組入候補銘柄として選定します。</p> <p>    i. 高い利益成長が期待できる銘柄</p> <p>    ii. 収益力等に対して株価が割安と判断される銘柄</p> <p>ハ. 株価バリュエーション、業種分散、銘柄分散等を勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。</p> <p>④株式の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	無制限

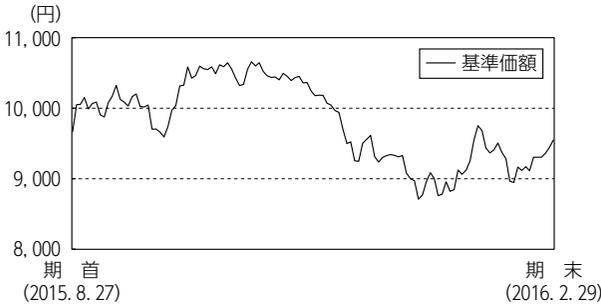
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基準価額		MSCIタイ指数 (配当込み、円換算)		株式組入 比率	株式先物 比率
	円	%	(参考指数)	%		
(期首) 2015年8月27日	9,668	—	10,066	—	91.8	—
8月末	10,054	4.0	10,561	4.9	95.2	—
9月末	9,704	0.4	10,024	△ 0.4	94.1	—
10月末	10,320	6.7	10,615	5.4	91.0	—
11月末	10,177	5.3	10,443	3.7	90.7	—
12月末	9,311	△ 3.7	9,430	△ 6.3	94.8	—
2016年1月末	9,551	△ 1.2	9,674	△ 3.9	97.0	—
(期末) 2016年2月29日	9,553	△ 1.2	9,776	△ 2.9	94.8	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) MSCIタイ指数(配当込み、円換算)は、MSCI Inc.の承諾を得て、MSCIタイ指数(配当込み、タイ・パーツベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCIタイ指数(配当込み、タイ・パーツベース)は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：9,668円 期末：9,553円 騰落率：△1.2%

【基準価額の主な変動要因】

タイ株式に投資した結果、原油価格の底打ち期待を受けた投資家心理の改善などを背景に株価が上昇したことがプラス要因となりましたが、原油価格の下落や欧州での金融不安などをを受けて投資家のリスク回避の動きが強まる中、円高の進行からタイ・パーツが対円で下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○タイ株式市況

タイ株式市況は上昇しました。

タイ株式市況は、前期末に発生した新興国からの資金流出懸念から投資家が徐々に落ち着きを取り戻してきたことにより上昇して始まり、その後も、政府による景気刺激策への期待や、市場予想を下回る雇用統計を受けた米国の年内利上げ観測の後退、また海外からの観光客増加による国内経済への恩恵期待から、株式市況は上昇基調を維持しました。しかし2015年11月に入ると、次世代回線の入札額高騰による通信事業者の収益圧迫懸念や原油価格の下落、米国の利上げ観測など悪材料が重なり、株式市況は通信株やエネルギー株主導で大きく下落しました。2016年の年明け以降は、株価急落を受けた割安感から買い戻しの動きが見られ株式市況は反発局面に入り、1月下旬にはECB(欧州中央銀行)の追加金融緩和への期待などを支援材料に上昇基調となりました。その後も、期末にかけて原油価格の反発などを背景に世界的に投資家心理が改善する中、株式市況も上昇基調を維持しました。

○為替相場

タイ・パーツは円に対して下落しました。

対円でのタイ・パーツ相場は、中国の通貨切り下げを受けた新興国からの資金流出懸念や投資家のリスク回避の動きから下落して始まりましたが、2015年10月には、市場予想を下回る雇用統計を受けた米国の年内利上げ観測の後退や、投資家のリスク回避の動きが和らいだことから、パーツは反発しました。その後、パーツは米国の年内利上げ観測から対米ドルでは下落したものの、円安米ドル高も同時に進行したため、対円では底堅い動きとなりました。しかし12月以降は、原油価格の下落や欧州での金融不安などをを受けて投資家のリスク回避の動きが強まる中で円高が進行したことから、パーツは対円で下落しました。

◆前期における「今後の運用方針」

インフラ(社会基盤)整備に対する投資の促進、所得水準の向上に伴う個人消費の拡大、製造業の集積による輸出の拡大見通しを背景とした、中長期的なタイ経済の高成長を享受することをめざして運用を行なってまいります。業種では、政府の大規模インフラ整備計画から中長期的な恩恵が期待される建設企業などを中心とした資本財・サービスセクターや、景気刺激策の恩恵が期待できる銀行を中心とした金融セクターなどに注目していきます。

◆ポートフォリオについて

タイ株式の中から中長期的に高い利益成長が期待できる銘柄に分散投資を行ないました。業種では、国内景気回復から中長期的に恩恵を受けると考えられた金融、強い石油化学製品市況の恩恵が見込まれた素材、底堅い国内消費を背景に業績拡大が期待できた生活必需品を組入上位としました。個別銘柄では、国内景気回復から幅広い恩恵が期待された大手銀行KASIKORNBANK(金融)、既存店売上回復による業績拡大が期待されたCP ALL(生活必需品)などの組入比率を高位としました。また、原油価格回復の恩恵が期待されたPTT PCL(エネルギー)などを買入付けました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

インフラ整備に対する投資の促進、所得水準の向上に伴う個人消費の拡大、製造業の集積による輸出の拡大見通しを背景とした、中長期的なタイ経済の高成長を享受することをめざして運用を行なってまいります。業種では、政府の大規模インフラ整備計画から中長期的な恩恵が期待される建設企業に加え、力強い業績を維持する情報技術セクター、観光客増加の恩恵を受ける観光関連産業などに注目していきます。

■売買および取引の状況

(1)株 式

(2015年8月28日から2016年2月29日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	タイ	百株	千タイ・パーツ	百株	千タイ・パーツ
		831,179 (1,480)	2,057,499 (1,110)	1,285,505	2,473,077

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式) (新株予約権証券)	42円 (42) (0)
有価証券取引税 (株式) (新株予約権証券)	1 (1) (0)
その他費用 (保管費用)	8 (8)
合 計	51

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(2)新株予約権証券

(2015年8月28日から2016年2月29日まで)

		買 付		売 付	
		証 券 数	金 額	証 券 数	金 額
外 国	タイ	証券	千タイ・パーツ	証券	千タイ・パーツ
		— (56,973)	— (—)	56,973 (—)	993 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は、割当、権利行使及び権利行使期間満了等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

株 式

(2015年8月28日から2016年2月29日まで)

銘 柄	当 期			銘 柄	売 付		
	株 数	金 額	平均単価		株 数	金 額	平均単価
PTT PCL/FOREIGN (タイ)	千株 1,834	千円 1,496,404	円 815	KASIKORNBANK PCL-NVDR (タイ)	千株 1,900	千円 1,058,881	円 557
ADVANCED INFO SERVICE-FOR RG (タイ)	1,270	844,187	664	PTT PCL/FOREIGN (タイ)	745	596,044	800
SIAM COMMERCIAL BANK-FOREIGN (タイ)	1,250	502,510	402	ADVANCED INFO SERVICE-FOR RG (タイ)	700	460,603	658
AIRPORTS OF THAILAND PCL-FOR (タイ)	320	349,459	1,092	KRUNGTHAI CARD PCL-FOREIGN (タイ)	1,266.5	404,377	319
TISCO FINANCIAL GROUP-NVDR (タイ)	2,215	292,859	132	CP ALL PCL-FOREIGN (タイ)	2,427	396,012	163
PTT EXPLORATION & PROD-FOR (タイ)	1,183	280,583	237	PTT EXPLORATION & PROD-FOR (タイ)	1,420	333,656	234
KASIKORNBANK PCL-NVDR (タイ)	450	255,806	568	TMB BANK PUBLIC CORP-FOREIGN (タイ)	36,000	312,288	8
AMATA CORP PUBLIC CO LTD-FOR (タイ)	4,700	235,332	50	SIAM CEMENT PCL-NVDR (タイ)	195	297,103	1,523
BANGKOK DUSIT MED SERVICE-F (タイ)	3,000	211,179	70	SINO-THAI ENGR & CONST-FOR (タイ)	4,100	276,865	67
THANACHART CAPITAL-FOREIGN (タイ)	1,703.3	198,636	116	KCE ELECTRONICS PCL-FOREIGN (タイ)	1,280	272,707	213

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表  
外国株式

銘柄	期首		当期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千タイ・パーツ	千円	
(タイ)					
SEAFCO PCL-FOREIGN REG	—	33,559	26,176	83,239	その他
SIAM CEMENT PCL-NVDR	5,500	3,550	160,460	510,262	素材
TMB BANK PUBLIC CORP-FOREIGN	292,434	172,434	44,487	141,471	金融
BUMRUNGRAD HOSPITAL-FOREIGN	2,200	—	—	—	ヘルスケア
KCE ELECTRONICS PCL-FOREIGN	21,241	10,941	87,528	278,339	情報技術
SVI PCL-FOREIGN SHARE	225,840	74,540	40,624	129,185	情報技術
LPN DEVELOPMENT PCL-FOREIGN	41,822	—	—	—	金融
KASIKORN BANK PCL-NVDR	28,450	13,950	241,335	767,445	金融
CENTRAL PLAZA HOTEL PCL-FRGN	11,096	9,114	35,772	113,756	観光・サービス
SIAM COMMERCIAL BANK-FOREIGN	16,304	23,804	333,256	1,059,754	金融
TISCO FINANCIAL GROUP-NVDR	—	9,680	45,496	144,677	金融
TIPCO FOODS PCL-NVDR	33,000	—	—	—	その他
STAR PETROLEUM REFINING PCL	—	46,000	41,860	133,114	エネルギー
KRUNG THAI BANK PUB CO-FOREI	34,000	—	—	—	金融
ADVANCED INFO SERVICE-FOR RG	6,260	11,960	208,104	661,770	電通サービス
ROBINSON DEPT STORE PCL-FOR	—	7,154	29,152	92,705	観光・サービス
CHAROEN POKPHAND FOOD-FORGN	35,000	30,000	57,900	184,122	生活必需品
BTS GROUP HOLDINGS PCL	71,129	—	—	—	観光・サービス
SINO-THAI ENGR & CONST-FOR	35,000	—	—	—	観光・サービス
SAPPE PCL-FOREIGN	8,511	—	—	—	その他
SRISAWAD POWER 1979 PCL-F	—	7,500	34,312	109,113	その他
BANGKOK DUST MED SERVICE-F	—	22,500	48,375	153,832	ヘルスケア
PTT EXPLORATION & PROD-FOR	16,500	14,130	95,024	302,177	エネルギー
IRPC PCL - FOREIGN	150,000	150,000	65,700	208,926	エネルギー
PYLON PCL-FOREIGN	38,487	38,487	38,487	122,388	その他
QUALITY HOUSE PCL-FOREIGN	186,900	155,349	35,419	112,634	金融
DELTA ELECTRONICS THAI-FORGN	—	4,500	36,787	116,984	情報技術
RATCHABURI ELEC GEN HODG-FOR	1,279	—	—	—	公益事業
PTT PCL/FORIGN	2,820	13,710	361,944	1,150,981	エネルギー
CP ALL PCL-FOREIGN	67,589	56,819	252,844	804,045	生活必需品
AMATA CORP PUBLIC CO LTD-FOR	—	47,000	60,630	192,803	その他
AP THAILAND PCL-FOREIGN	50,000	50,000	29,250	93,015	金融
AP THAILAND PCL - NVDR	25,000	—	—	—	金融
AIRPORTS OF THAILAND PCL-FOR	2,901	6,101	244,040	776,047	観光・サービス
CENTRAL PATTANA PUB CO-FOREI	10,635	2,635	12,252	38,963	金融
CENTRAL PATTANA PCL-NVDR	30,000	21,500	99,975	317,920	金融
BANGKOK BANK PUBLIC CO-NVDR	3,600	3,400	56,270	178,938	金融
SOMBOON ADV. TECH - FOREIGN	21,053	21,053	31,579	100,422	観光・サービス

銘柄	期首		当期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千タイ・パーツ	千円	
PTT GLOBAL CHEMICAL PCL-FOR	25,950	19,200	105,120	334,281	素材
INTOUCH HOLDINGS PCL-NVDR	10,500	—	—	—	電通サービス
WORKPOINT ENTERTAINMENT-FOR	17,244.6	11,394.6	40,450	128,633	その他
KRUNGTHAI CARD PCL-FOREIGN	10,165	—	—	—	その他
ICHITAN GROUP PCL-FOREIGN	6,400	—	—	—	生活必需品
ファンド	株数、金額	1,544,810.6	1,091,964.6	3,000,614	9,541,954
合計	銘柄数<比率>	35銘柄	31銘柄	<94.8%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < > は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年2月29日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 9,541,954	% 92.0
コール・ローン等、その他	829,661	8.0
投資信託財産総額	10,371,616	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月29日における邦貨換算レートは、1タイ・パーツ=3.18円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(9,663,267千円)の投資信託財産総額(10,371,616千円)に対する比率は、93.2%です。

# ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年2月29日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>10,544,775,611円</b>
コール・ローン等	380,363,582
株式(評価額)	9,541,954,886
未収入金	588,584,139
未取配当金	33,873,004
<b>(B) 負債</b>	<b>480,612,639</b>
未払金	455,612,639
未払解約金	25,000,000
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>10,064,162,972</b>
元本	10,535,371,836
次期繰越損益金	△ 471,208,864
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>10,535,371,836口</b>
<b>1万口当り基準価額 (C / D)</b>	<b>9,553円</b>

\* 期首における元本額は12,471,993,378円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は1,936,621,542円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・ライジング・タイランド株式ファンド10,535,371,836円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,553円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は471,208,864円です。

## ■損益の状況

当期 自2015年8月28日 至2016年2月29日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>81,794,201円</b>
受取配当金	81,621,951
受取利息	172,250
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 160,519,685</b>
売買益	1,060,745,808
売買損	△ 1,221,265,493
<b>(C) その他費用</b>	<b>△ 9,463,077</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>△ 88,188,561</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 414,641,845</b>
<b>(F) 解約差損益金</b>	<b>31,621,542</b>
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>△ 471,208,864</b>
<b>次期繰越損益金 (G)</b>	<b>△ 471,208,864</b>

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。